

令和2年度京都府保護司会連合会 ZOOM オンライン特別研修会報告

京都府保護司会連合会は平成17年より府内全保護司を対象とし毎年11月に「特別研修会・意見交換会」を京都市内で開催してきました。府内保護司の約6割600名参加の規模です。

しかし、令和2年はコロナ禍の中、各行事が中止になり、6月には特別研修会中止と考えていました。7月に始まりました「第70回社会を明るくする運動」でも大きな行事は全て中止となりましたが、各地区コロナ禍の中「三密」を避け、工夫を持って社明運動に取り組まれていました。その中で、左京地区保護司会の皆さんはオンラインを使っての社明作文会議や岩倉ミニ集会、そして左京地区保護司会・更生保護女性会・左京区力を合わせ「ZOOM オンライン左京区公開講演会」を開催され大きな成果を上げられていました。この活動が今回のオンライン特別研修会につながりました。講師の山本美也子先生にオンラインでの講演方法をお願いしましたところご快諾頂きました。

しかし、常務理事会で決定したのは7月下旬でした。直ぐに22地区会長にお願いしパブリックビューイング会場の設置と「ネット担当保護司」1名選任をお願いしました。

(ネット担当保護司会議開催の様子9月4日、5日、6日、9日)



9月4日 接続テスト



9月6日 接続テスト

ネット担当保護司会議ではチラシ原案・接続のセキュリティ対策・パブリックビューイングの問題点等が協議され、次の段階に進んでいきました。

演題

「思いやりで社会を変える」

～被害者も加害者も作らない社会を目指して～

参加無料

令和2年度
京都府保護司会連合会特別研修会山本 美也子先生
(NPO法人はあとスペース)

講演者

プロフィール

2010年、3月車いす優先駐車場のマナー啓発運動を行うNPO法人を設立。その1年後に代表の長男と友人が飲酒運転の車により死亡。飲酒運転撲滅を加えて活動中、福岡の保護観察所とも協力し活動を展開。少年院や刑務所でも講演活動を行い、地域での子育ての重要性に気付く。現在事務所内にまちかど図書館やカフェなど地域の居場所作りなども行っている。

日時 令和2年11月5日[木]
午後14:00より15:30 (13:00 受付開始)

場所 ・各 ZOOM オンライン端末よりご視聴
・京都府下22地区パブリックビューイング会場

オンライン・FAXにて受付中。詳しくは裏面をご覧ください。

主催：京都府保護司会連合会

令和2年度 京都府保護司会連合会特別研修会

ご挨拶

平素は更生保護活動にご協力、ご理解を賜り厚く御礼申し上げます。
 コロナ禍の中「三密」を避ける開催方法として今年度は ZOOM を使ったオンライン特別研修会として行います。
 講師の山本美也子様は当時 16 歳の寛大さんとその友人の命を飲酒運転事故により突然奪われました。その直後より飲酒運転撲滅活動を始め、命の大切さや、加害者も被害者も作らない事などを訴え、講演活動を行われています。
 対象者に被害者等の心情の理解を促すには、担当の保護司が被害者等の心情等について知る事が大切です。加害者の社会内処遇を行う上で被害者の視点は欠くことが出来ません。今回の講演会はスマホやパソコンから参加出来ます。
 多くの皆様のご参加をお待ちしております。

ZOOM
特別研修会
申込サイト

kyoto-fuhoren.com



1. ZOOMで参加希望

ご自身の ZOOM アプリより参加

府保連の申込サイト（右の QR コード）の、お申込フォームからお申し込みください。当日メール受信ができて、ZOOM を視聴可能な PC・タブレット・スマートフォンのメールアドレスでお申し込みください。

研修会当日の流れ

当日の 12 時頃、ご登録のメールアドレスに ZOOM 研修会場の「ID」・「パスワード」をお送りします。
 ご入場は受付業務の関係で、ご所属の地区毎に、時間差を設けてご入場いただけます。
 申込みサイトにて入場時に必要な設定と ZOOM の基本的な使い方を明記しておりますので、必ずご一読ください。

ZOOM 接続の注意

- 保護観察等の資料が保存されているパソコンからは接続しないでください。
- ZOOM は最新のバージョンにしてください。
- 使用するパソコンはウイルス対策ソフトを導入してください。
- パソコンにウィニー等のファイル交換ソフトをインストールしないこと。家族でパソコンを共有している場合は、特に注意して確認してください。
- Web 会議（特別研修会）にパスワードを設定します。
- 「待合室」機能を使い、正規のユーザ以外を入室させないことを徹底します。参加者には「ニックネーム」ではなく、正規のユーザであることがわかる名前で入室して頂きます。
- ZOOM の使用量は無料ですが、Wi-Fi 等の通信費はかかります。データ通信量として、オンライン公開講演会 1.5 時間あたり約 500MB 消費するため、Wi-Fi 環境を利用いただくことを推奨します。

ZOOMで参加

11/3 (火)
午後17時締切

2. 会場で参加希望 (パブリックビューイング)

ZOOM 設定済の会場から参加
(ご自身での ZOOM 操作は必要ありません)

会場で参加をご希望の方は 10 月 31 日までにファックス、または、申込サイトよりお申し込みください。

京都府下 22 地区のパブリックビューイング会場の詳細は、決まり次第、申込サイトにて掲載いたします。定員のある会場がありますので、詳細は各地区担当までお問い合わせください。

研修会当日の流れ

当日は 13 時よりお申し込みの京都府下 22 地区のパブリックビューイング会場へお越しください。パブリックビューイング会場では ZOOM の設定ができております。会場で支障が出る可能性がございますので、会場内ではご自身での ZOOM アプリのご使用はご遠慮ください。

会場で参加

10/31 (土)
午後17時締切

会場（パブリックビューイング）参加 FAX 申込書

お名前

電話番号 又は 携帯番号

所属保護区

ZOOM 特別研修会事務局

FAX: 075-254-3226

10 月 31 日午後 17 時までにお申し込みください。
 FAX 申込後、地区担当の方から????で確認があります。

特別研修会当日（令和2年11月5日）

ネット配信会場はホテルグランビア京都からスタジオ1とスタジオ2の二カ所より配信しました。12:30 申込者・パブリックビューイング会場へ招待メール発信。13:00 より受け付け開始。



スタジオ1



スタジオ2

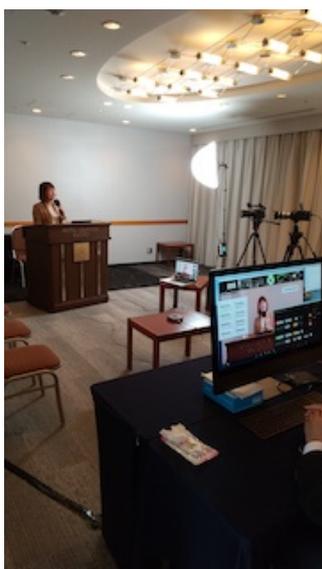
<入場後の動画案内>

ZOOM 講演会に入場された方に対して講演会が開始されるまでの待ち時間を使い、各種注意点・講演会概略・式次第・パブリックビューイング会場情報を動画で案内しました。詳細は下記にてご覧ください。

<https://vimeo.com/472130733/6a3651d1bb>

山本美也子先生講演

スタジオ1





山本美也子先生講演

オンライン参加者ギャラリービュー



令和2年度京都府保護特別研修会



令和2年度京都府保護特別研修会



令和2年度京都府保護特別研修会



令和2年度京都府保護特別研修会

オンライン参加者 166 名

京都府保護司会連合会 ZOOM 特別研修会ビデオ

当日のオンライン講演会の様子は下記パスワードを入力してご覧いただけます。
講演会が終了した1時間18分30秒からは、京都府全体で取り組んだ講演会の全容がわかるパブリックビューイング各会場の写真や情報を見ることができます。

<https://vimeo.com/477039156/bd0a759866>

パスワード:1105



パブリックビューイング会場



北区



上京区



中京区



下京区



左京区



京都保護観察所会議室



山科区



西京区



東山区



伏見区



南区



右京区



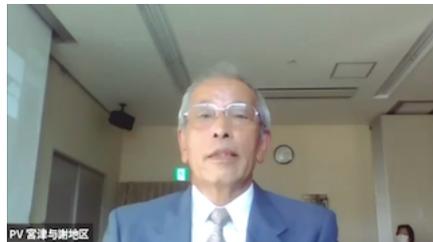
乙訓地区



亀岡地区



京丹後市地区



宮津与謝地区



綴喜地区



福知山地区



舞鶴地区



相楽地区



南丹地区

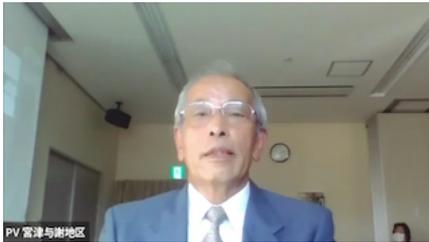


宇治地区

講演会当日の様子

司会進行は高原保幸京都府保護司会連合会副会長により 14 時予定通り特別研修会開式。

桑村信慶京都府保護司会連合会会長「開会の言葉」、京都保護観察所所長横地環様のごあいさつを頂き、講師紹介を宮津与謝パブリックビューイング会場より尾関和生京都府保護司会連合会副会長によって行いました。



<尾関副会長 講師紹介>

14 時 15 分より「NPO 法人はあとスペース代表理事」山本美也子様「思いやりで社会を変える～被害者も加害者も作らない社会を目指して～」のご講演を頂きました。



<山本美也子先生>

15 時 15 分からは質疑応答の時間を設けました。講演中チャットで質問があった、山科・相楽・舞鶴・南区のパブリックビューイング会場とスタジオの山本美也子先生の応答が出来ました。



<舞鶴地区サポートセンターより質疑応答>

15 時 30 分京都府保護司会連合会大橋憲宏副会長より謝辞・閉会の挨拶が有り講演会は終了いたしました。



<大橋副会長 謝辞・閉会の挨拶>

一部音声のトラブルがありましたが、予定通り行うことが出来ました。
特別研修会参加者数はオンライン参加者 166 名、 23 地域 パブリックビューイング参加者 350 名 でした。
当日オンライン参加者にはネットからアンケートを行い、パブリックビューイング会場にてのアンケートは用紙に記載して頂く方法を取りました。集計結果とコメントの一部を掲載しました。

令和2年度 京都府保護司会連合会 特別研修会アンケート集計結果

アンケート回収総数	349名
ZOOM オンラインにてのアンケート	80名
パブリックビューイング会場にてのアンケート	269名

保護司歴（年）	0～10	11～20	21以上	無記入
	180名	108名	42名	19名

<講演についてのアンケート>

講演内容	大変よかった	192名
	よかった	134名
	普通	17名
	あまりよくなかった	1名
	よくなかった	2名
	無記入	3名

<講演内容についてのコメント>

- ・講演者の強さ温かさ悲しさ悔しさ嬉しさ美しさ力強さを受け取った。
- ・「加害者を作らない社会」を目指しながら被害者にも寄り添っていきたい。
- ・再犯を防ぐ取組の大切さをあらためて学んだ。
- ・たいへんつらい内容を明るく語っていただき救われた。
- ・心情を聴き涙が止まらなかった。ぜひ生で聴きたい。
- ・NPO活動の原点。自分は何ができるのか深く考えた。
- ・飲酒運転の繰り返しは薬物依存の始まりに思えた。
- ・ずっと支えていくことの大切さを学んだ。
- ・よく乗り越えてこられたと思う一方、周囲の人の支えの大切さを感じた。
- ・被害者の気持ち、思いを伝えるような対象者に対する態度を心掛けたい。

<オンライン形式についてのアンケート>

オンライン形式	大変よかった	111名
	よかった	155名
	普通	48名
	あまりよくなかった	17名
	よくなかった	1名
	無記入	17名

<オンライン形式についてのコメント>

- ・身近で画像もきれいで良い機会となった。
- ・このような形でも研修会をもてて良かった。
- ・今後は普通の形となっていく。
- ・身近に研修会が出来て良かった。
- ・広い会場で聴くよりオンラインの方が集中できた。
- ・オンラインでの講演は録画ビデオにはないリアルな視聴
- ・聞き取りにくい面もあった。
- ・全体としてはよかった。音声の途切れが残念。
- ・改善を加えながらより良いオンライン会議にしていきたい。
- ・いつもの講演と変わらずに聴けた。工夫があった。
- ・運営上のトラブルは初めてなので仕方ない。
- ・オンラインの研修を望む。自宅から参加可能。
- ・コロナの見通しを踏まえると今後もオンライン形式が良い。
- ・例年の形で懇親会も必要。
- ・できれば直接が良い。
- ・オンラインと従来の形と1年交代でやってはどうか。
- ・オンラインでも出来ることがわかったので良かった。

<ネット担当保護司の皆様の感想>

今回、府内 22 地区から 1 名のネット担当保護司(この名称は府保連が造った造語です)を選任して頂き、地区のパブリックビューイング会場接続等の準備や地区の会員の ZOOM 研修に当たって頂きました。研修会終了後、ネット担当保護司の皆様から会場写真や今回の感想・反省点等を後連絡頂きました。その中の一部を掲載しました。

・ZOOM を利用した特別研修は、コロナ禍での方法として社会の動きと連動し、オンライン会議を身近に感じることができ、また今後の選択肢として非常に有用であるとの実感がありました。

ただ保護司会会員が比較的年齢層が高く、電子機器に対する抵抗感があり、そもそも ZOOM とは??から始めないとならないことも事実です。

そういった意味では各地区ネット担当保護司を選任した今回の流れをそのまま継続し、各地区での普及に努めることもこれからの会議や研修に役立つ方法を確立しておくことに繋がり様々なメリットがあるように思います。

・コロナ禍により個人が自宅で視聴参加できる ZOOM オンライン端末による開催に加えて、京都府下 22 地区の保護司会がパブリック会場を設営され、ここでも視聴ができるといった二択方式が採用されました。

このことは、今後コロナ禍が終息したとしても開催方法の一つとして大きな画期になったと思います。

・講演内容も講師の顔や表情がハッキリ見えて伝わってくるものがあった。音声も聞きやすくよく理解できた。なにより講演を聴くために往復に4時間以上の時間ロスが無くなり、非常に合理的な研修が開催された。

・講演などは大型TVを見ている感じで、LIVEとはいえ、やはり臨場感は薄かったかと思います。会議等では、今後とも有効かと思いますが、講演はやはり生で参加させてもらった方が良かったかと思いました。

・特に京都府北部においては、研修を受ける機会も少ないなかで、著名な講師の講演を聴くことができましたことは、大変有意義でした。例年の特別研修では、地区会員の半数ほどの参加でありましたが、ZOOM+PVで、サポートセンターを会場に研修を受けることができ、ほとんどの会員が受講できました。コロナの中での苦渋の取り組みでしたが今後さらに工夫することで、研修機会を増やす、各保護司会の交流を図ることができるのではないかと考えました。

・参加状況・意見を踏まえ今後を考えると、ZOOM等を利用した講演会、研修会、会議等を進める必要性を感じる。

変化になじまないとか環境が整っていない方への配慮も必要だが、全員が一斉に揃うには時間が必要であり、できる方から進めていくのが望ましい。

但し、上記の方々への配慮として、一堂に会するとか顔の見える在り方も必要
一堂に会することとネットを利用することの併用により、多くの参加者を得るのでは。

今回の反省と今後に向けての検討会を行い、各地区ネット担当者か又は意識のある方を対象に開催を検討し、今後につないでは。

<京都府保護司会連合会まとめ>

京都府保護司会連合会会長 桑村信慶

誰もが予想しなかった新型コロナウイルス危機の中、保護司として「常に研鑽に励み、人格識見の向上に努めます。」この保護司信条に応えるための方法として、今回 ZOOM オンライン講演会に挑戦しました。

準備する時間が3ヵ月という短期間でしたが、22地区各会長の協力で22パブリックビューイング会場の設置・ネット担当保護司選任を早期に始めることが出来ました。

ZOOMによるネット担当保護司との会議、個々のネット担当保護司とメールでの連絡を重ね、10月初めには府内全保護司に特別研修会チラシ配布を完了しました。

今回このオンライン研修会には（株）フェアウインド上野氏とスタッフの皆様のお力を頂き、府保連研修ホームページを作成して頂き、このページから申込をはじめました。申込の集計・招待メール発送・当日の撮影・ZOOM発信も（株）フェアウインド様にお願いしました。

併せて各地区ではパブリックビューイング参加者の申込も始め参加者を確保していきました。

10月には（株）フェアウインド様のご協力を頂き ZOOM 経験が未経験や経験が浅い保護司に2回練習会を開催、参加者は35名でした。

またパブリックビューイング会場での接続テストを、府内各会場20回行い Wi-Fi 状況・放映機器の調整を行いました。

当日スタジオとして使用するホテルグランビアにも3回、LAN回線・Wi-Fi状況確認のため模擬練習を行いました。

10月下旬には三役会で当日のシナリオ・役割の確認を最終的決定しました。今回、人が集まったの会議はこの三役会のみで、あとの会議連絡は全てネットで行うことが出来ました。

ZOOM 接続のセキュリティ対策には京都保護観察所の指導を仰ぎ、チラシに注意事項記載し各保護司に注意を促しました。ネット担当保護司にも再度確認しました。

当日は一部音声のトラブル、時間が無くチャットでの質問に全て対応出来なか

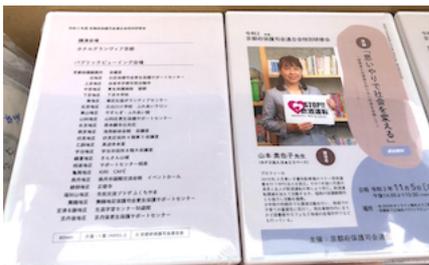
ったことがありましたが、ほぼ予定通り講演を開催できました。

ネット担当保護司の皆様のご感想にもありますが、コロナ禍状況がまだ続く中では、研修・会議はオンラインを活用していく方向になっていきます。すでに会議で活用している地区もあります。府保連としてはネット担当保護司を中心にした府内の繋がり、各地区会員の繋がりが続けて出来るよう京都保護観察所と連携しネット網の構築に力を入れていきます。

最後になりましたが、今回の特別研修会準備のため大変お世話になりました京都保護観察所様、22地区会長様、ネット担当保護司の皆様、(株)フェアウィンド様には御礼申し上げます。

<特別研修会 DVD 制作>

当日欠席者のため、並びに記録のため特別研修会 DVD 制作を作成し 22 地区サポートセンターに配布しました。



法務省保護局 Twitter にも掲載されています

https://twitter.com/MOJ_HOGO/status/1331145530911678465/photo/1

<文責 桑村信慶>